

このまちの100年

「神戸」

入り江が港として適していたことなどから、開港場となった神戸。港の近くに居留地が設けられ、日本を代表する港町の一つとして発展します。様々な西洋文化が伝わるようになり、商業地としてもにぎわいました。



大正元年頃

メリケン波止場とも呼ばれた第三波止場。メリケン「アメリカン」から転訛したとされる



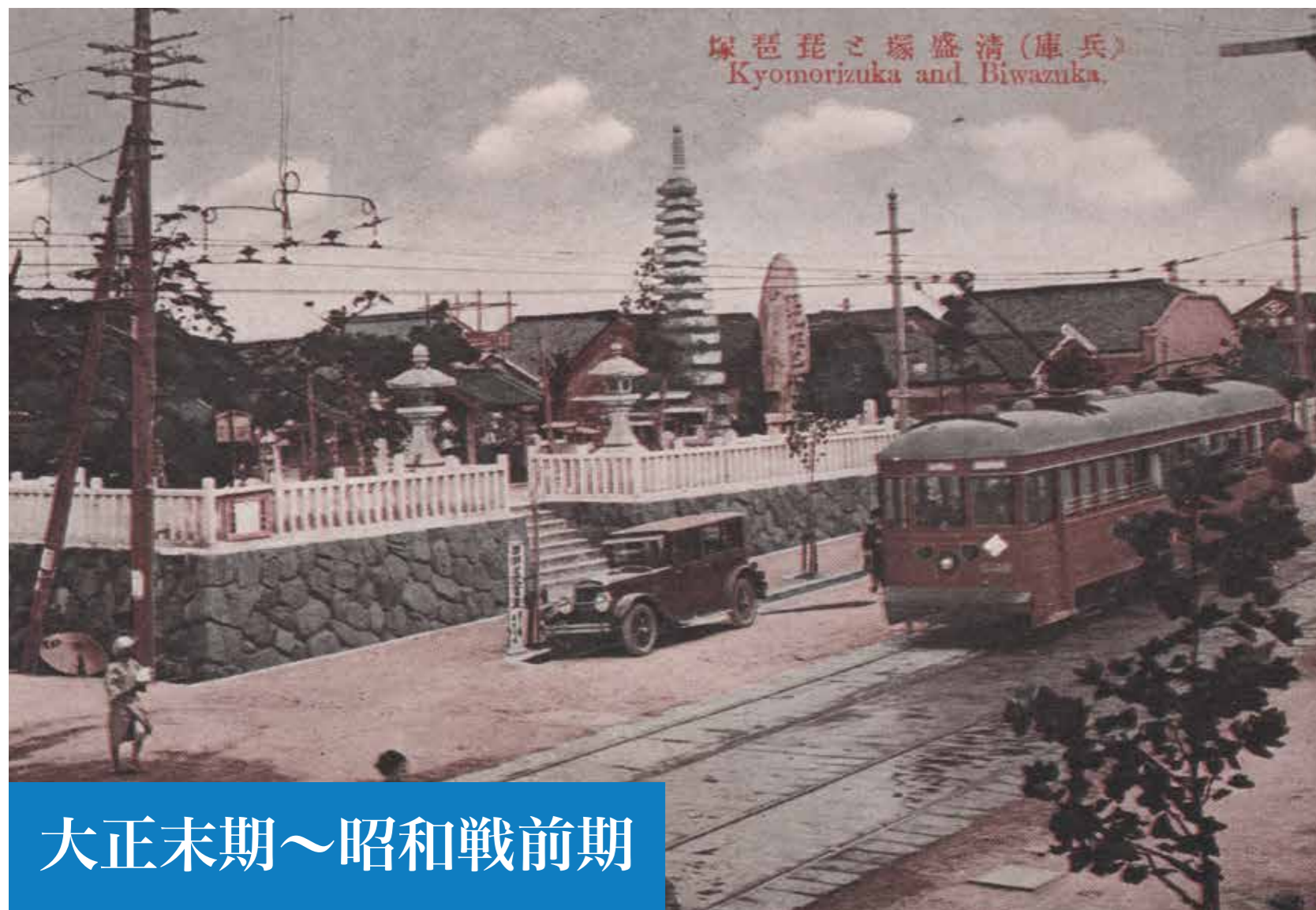
明治40年頃

慶応3年に開港した兵庫(神戸)。海岸沿の居留地には洋館が建ち並んだ



昭和初期

そごう 神戸店は、阪神三宮駅ビルのテナントとして開業



大正末期～昭和戦前期

写真奥は平清盛ゆかりの清盛塚。清盛は平安時代末期、大輪田泊(のちの兵庫港)を整備したといわれる



昭和初期

昭和11年、阪急が三宮に神戸駅(現在の神戸三宮駅)を開業。この時、写真の神戸阪急ビルが建設された



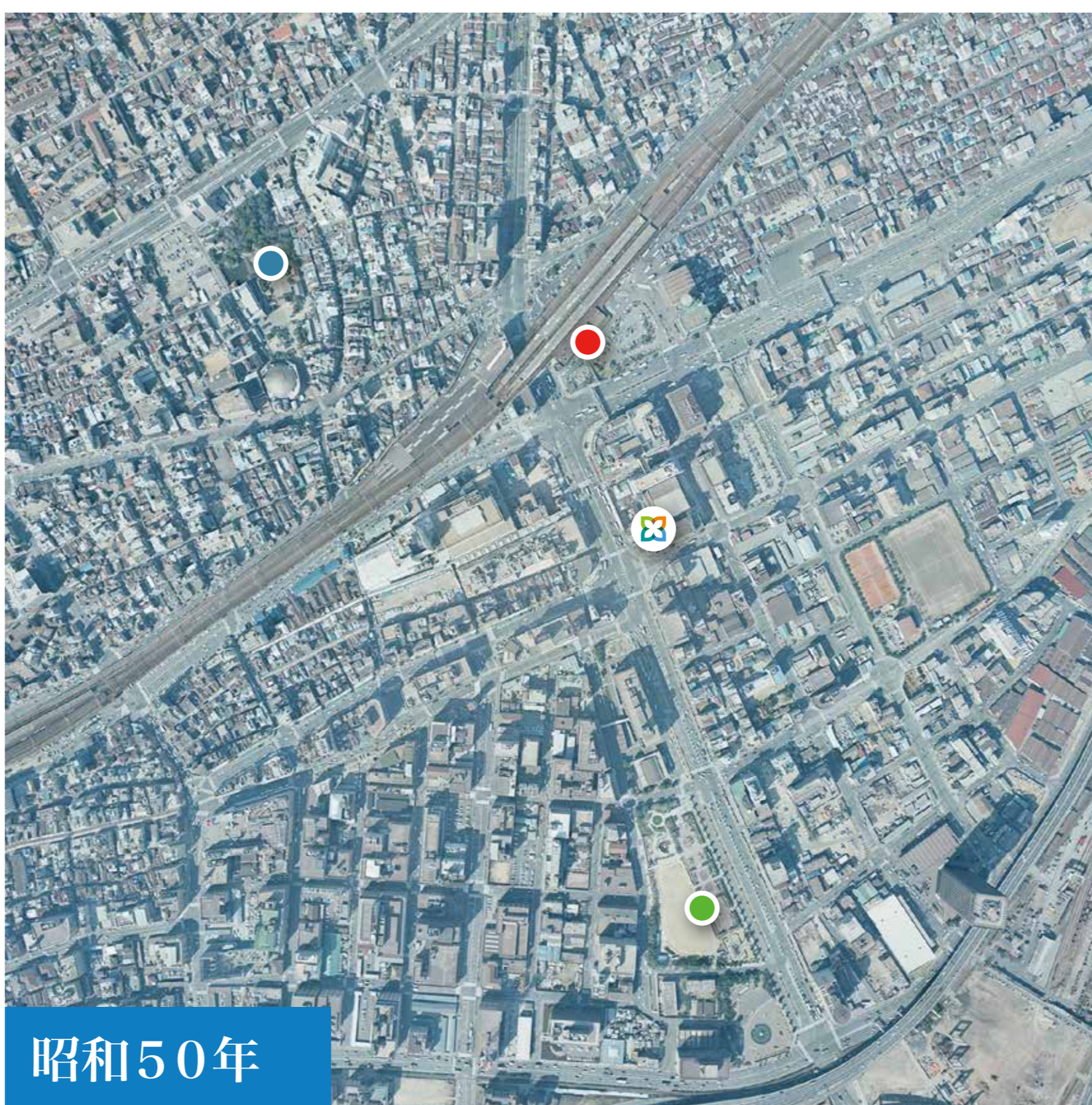
昭和20～30年代頃

三宮駅前の様子。神戸市電は昭和46年に全て廃止となった

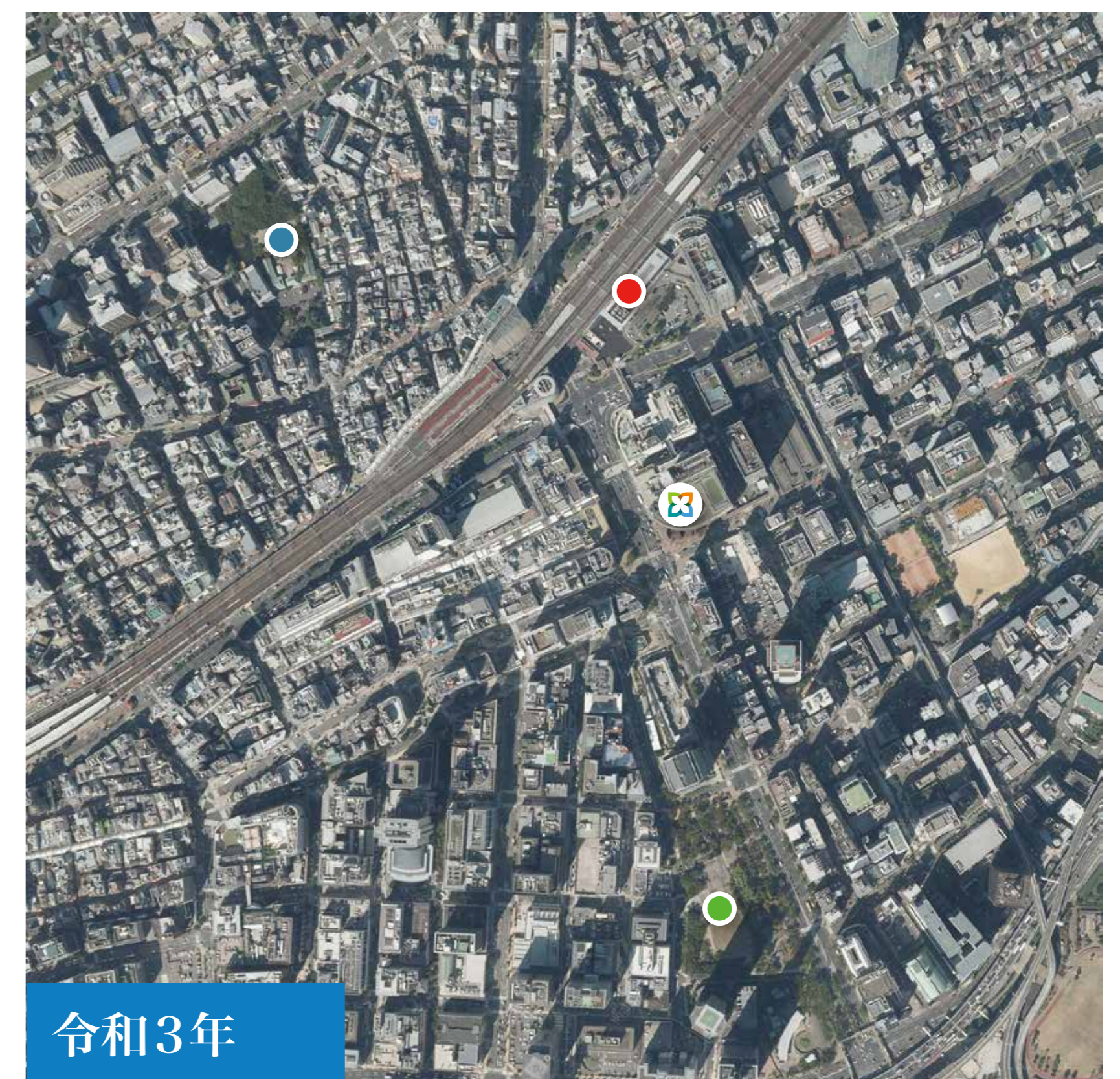
上空からみた神戸エリア



昭和23年



昭和50年



令和3年

☒ : 現在地
● : 生田神社 ● : 東遊園地 ● : 三ノ宮駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ